

度になり、人々は食糧などを代用品で済ますようになりました。青年団も日常勤労奉仕にかり出され、婦人たちも飛行場に勤務する軍人の世話や防空防火訓練にあたるなど、全ての町民が戦争遂行に生活をかけていました。終戦を迎えても日本は、耐乏生活を余儀なくされました。



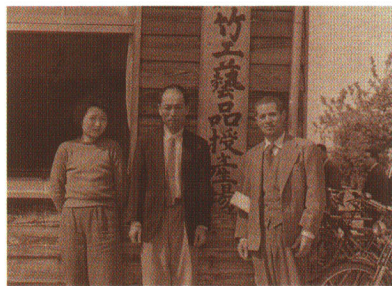
上 / 出征兵士の記念写真
下 / 国防婦人会の物資供出

矢吹町では旧陸軍飛行場跡を羽鳥ダムの通水により水田地帯へ変える計画が実施され、召集されていた兵士達も復員。老人や女性が支えていた耕地に男性が戻り、衰退していた農業も力を取り戻しました。多くの尊い人命を犠牲に、矢吹町によりやく平和と希望が戻った時でした。

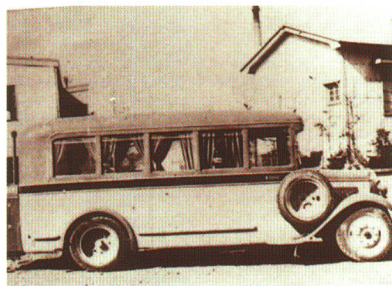
召集された兵士は矢吹町も含め農村出身者が大半であり、農業生産も衰退、食糧供給も減少の一途をたどりはじめる。昭和15年5月10日、供出米の強制措置が決定。戦時体制一色のなか、全ての町民が戦争遂行一色の生活を強いられ、窮乏に耐えなければならぬ時代だった。

矢吹、時の鼓動

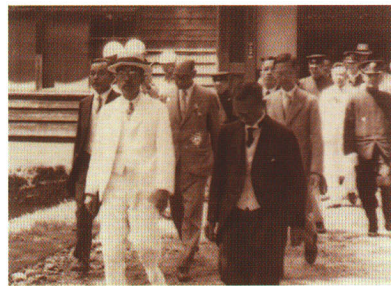
1940-1954



町社会福祉協議会竹工芸品授産場所 (昭和25年)



ガソリン不足のため木炭自動車も走った



天皇巡視 (矢吹訓練農場)

- 協創立 ◆五月 ◆大和久大火、13戸全焼 ◆六月 ◆三神村農協創立 ◆七月 ◆矢吹中学校独立校舎に移る ◆十月 ◆矢吹農業改良指導所開設 (昭和33年に改良普及所と改称)
- ▼昭和二十四年
- ◆四月 ◆県立白河第二高等学校矢吹分校開校 (矢吹中学校内に) ◆十月 ◆中畑中学校校舎新築落成 ◆十二月 ◆中畑稲荷釜に共済組合西白河支所第2家畜診療所開設 ◆羽鳥ダム工事本格的に始まる ◆矢吹町美術協会できる。
- ▼昭和二十五年
- ◆六月 ◆矢吹町竹工芸品授産所開設 ◆矢吹町6月4日施行の参議院選挙において、投票率99.87%で全国第1位となり、全国選管及び毎日新聞社より表彰・楯を受ける ◆十月 ◆三神村ガソリンポンプ購入 ◆中畑村に初めて電話開通。
- ▼昭和二十六年
- ◆三月 ◆白河信用組合矢吹支所開業 ◆四月 ◆三城目阿武隈川堤防完成 ◆五月 ◆東北電力(株)設立 ◆東北電力白河営業所矢吹散宿所設置 ◆六月 ◆矢吹町母子寮開設される ◆十月 ◆警察法改正 ◆矢吹町警察署廃止され白河警察署矢吹警部派出所となる
- ▼昭和二十七年
- ◆三月 ◆矢吹原耕地整理組合、矢吹原土地改良区連合会に組織替となる ◆七月 ◆中畑村民健康保険直営診療所開設 ◆十月 ◆矢吹町変電所設置される ◆各町村教育委員会発足
- ▼昭和二十八年
- ◆三月 ◆三神郵便局が電話交換業務始める ◆四月 ◆神田簡易郵便局開局 (昭和36年9月30日廃止) ◆八月 ◆町村合併促進法 (10月1日施行)
- ◆十月 ◆三神村国民健康保険直営診療所開設 ◆十一月 ◆福島県及び読売新聞社主催の新生活モデル町村として、大畑部落は総合第1位として表彰を受ける
- ▼昭和二十九年
- ◆三月 ◆中畑館の越横穴古墳発見される ◆矢吹ヶ原土地改良区開設 ◆三枚発田に町営住宅13戸建設される